

◆研究者：水口 徹(ミズグチトキ)先生 / 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 基礎臨床医療科学

◆研究テーマ：高齢者のがん治療をサポートするヘルスプラットフォームを開発する研究

◆助成金額：50万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

学生時代の実習で病棟にいた患者さんの何人かが術後肝不全から黄疸を発症していました。当時は肝移植も行われていなかった時代でしたので、そのような患者さんを救えないかと思ったことがきっかけです。

2：助成研究の内容紹介

がんは高齢化に伴って増加傾向にあります。高齢者はフレイルを併発するなど基礎体力の低下ががん治療において問題となります。外科治療では過大侵襲となり、生存の質が極端に低下し介護が必要となる場合も少なくありません。生存の質を可視化するために、ウェアラブルデバイスで睡眠・循環・筋量・代謝・メンタルなどの生体情報を収集するアプリケーションを開発し、これらから病態や治療に応じた生存の質を予測するモデルを提供します。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

高齢者のみならず多くの年代で生体情報から健康状態をメンタルも含めて可視化されます。自分を把握することで行動変容を推進し健康状態が改善されます。また、様々ながん治療が選択できるようになっており、生存期間のみならず生存の質を考量した治療の提供や選択が可能になります。最終目標は人が尊厳を最期の瞬間まで維持し、充実して生きた時間を確保することで、社会生産性と幸福度を向上することが目標です。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

この度は多くの研究の中からご支援を頂きましたことに厚く御礼申し上げます。壮大なプロジェクトの一部ですが、私の夢の実現に向けてご期待に応えられるよう尽力して参ります。